

原爆第二修道院

原爆第二修道院で実践しているエコロジカルな取り組みをお伝えします。

・節電・節水に心がけた生活をする

*節電

静修前日の消灯徹底、食堂の電灯を日中は半分だけつける（窓側はつけない）、聖堂は人がいる所だけ電灯をつける。もしくは電灯がついている空いている場所へ移動する。

入浴も立て続けに入り、スイッチの入り切りを少なくする。お湯も足さなくても冷めないようにエコな入り方を行っている。

2021年はしてないが、修道院の食堂に西日がかなり入り込むため（景色は最高です）ゴーヤとパッションフルーツのグリーンカーテンをして、実ができる楽しみもあった。

*節水

毎食の食器洗いの前に、捨て布（不要になったタオル・服など切って準備している）で予め油污れや、小さなごみを拭き取り、排水溝に流さないようにしている。水・洗剤の節約にもつながる。朝のふきん洗濯で最後のすすぎの水をたらいに取り置き、昼食後の流し掃除に使用している。米のとぎ汁を植物にかけている。野菜の皮を花の肥料（ボカシと混ぜて）に使用している。

*節約

朝食は昼食・夕食の残り物をリメイク、またはそのまま捨てないように食べきる。（姉妹の腕の見せどころです）

広告で箱を折り、ホームの利用者の残菜入れに活用している。

裏紙を使い普段の印刷やFAXの用紙に使用している。

食材の買い出しに出かける姉妹は何枚もエコバックを持参している。

話し合いをしての気づきでは、お互いを大切にしたら物にもやさしくできるようになるだろうことと、愛は共同体から環境地球へとつながっていくことを再確認できた。

一人ひとりがお互いさまの心で過ごしていくと、相手を思いやることにもつながることも再確認できた。これからも姉妹同士励まし合いながら、日々努力を続けていきたいと思う。

